

少子高齢化が進む中、自分で車を運転できない方の交通手段の確保が全国的な課題となっています。

苫小牧市でも今後、年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口が増加し、少子高齢化が進むことが予想されています。

公共交通機関は、買い物や通院、通勤・通学の際に安心して利用できる交通手段であり、市街地が東西に約30キロと長い苫小牧市では今後、公共交通機関の果たす役割はますます高まることが考えられます。

市では、市民の皆さんがより利用しやすい、持続可能な公共交通網の形成を目指していきます。



ますます高まる公共交通の役割



乗ってまもろう！ 私たちの足 公共交通

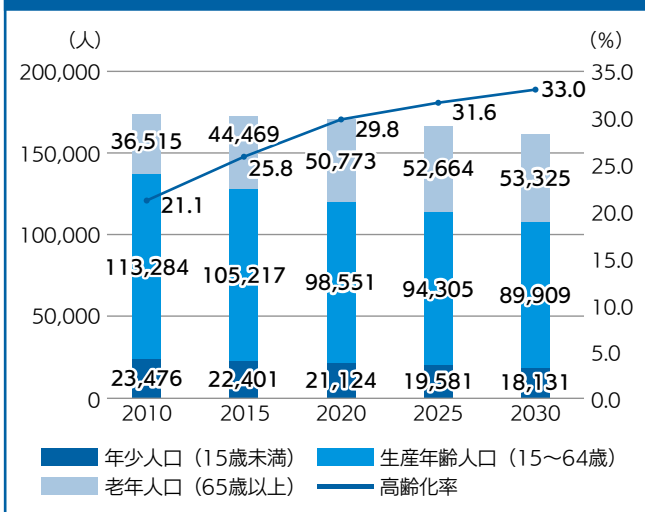
鉄道やバス、タクシーなどの公共交通機関は、利用者が年々減少しています。

市では、より利用しやすい公共交通を目指し、さまざまな事業を通して利用促進を呼び掛けています。

▶ まちづくり推進課
☎ (84)4071



苫小牧市の人口と高齢化率の推移



広報

とまごまい



2 クローズアップ
乗ってまもろう！
私たちの足 公共交通

4 特集
働き方改革
チャレンジ！
ワークライフ・バランスなど
表彰企業大募集！

6 市政トピックス
令和元・2年度市職員・
教育委員会職員の募集
／介護保険サービスの
利用支援 ほか

9 イベント・info
出張！エコライフ情報
局／ハスカップフリー
マーケット／サンガー
デンからのお知らせ
ほか

10 カルチャーガイド
おでかけガイド

12 健康ガイド
健康教室／健康相談／
健康NEWS ほか